

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36774	
事業名	スクリーニング検査費						
評価担当課	所属名	保)衛生研究所 保健科学課					
	課長名	三上 篤	担当者名	阿部、野町	電話番号	841-7672	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	マスキングを行うことにより、先天性の病気などを早期発見・早期治療することで障がいの原因となる病気の発症を未然に防止する。				
		長期	障がいの原因となる病気の発症を未然に防止することにより、早期発見・治療による医療費の低減を行うとともに、母子保健の向上を図る。				
	取組内容	病気の早期発見を目的としたマスキング(集団検査)を行う。 ①新生児マスキング(先天性代謝異常症等26疾患)、乳児マスキング(胆道閉鎖症)、妊婦甲状腺機能検査の実施 ②発見された患児等の診断補助及びフォローアップのため、医療機関からの依頼検査を実施している。					
	実施結果	母子を対象にした以下の検査を行った(カッコ内、受検者数)。 ①新生児マスキング(13, 731人) ②胆道閉鎖症検査(12, 358人) ③妊婦甲状腺機能検査(5, 386人)					
事業実施における工夫点	可能な限り再検査や精密検査を減らすとともに、患者の見逃しのない精度の高い検査を行うため、日頃から検査精度の維持・向上を図り、検査を受けるお子様やご家族の肉体的・精神的な負担を軽減している。						
対象者	市内に在住する新生児、乳児、妊婦			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	新生児集団検査等：母子保健法						
他都市の状況	新生児マスキングは全ての都道府県政令市単位で実施している。 妊婦甲状腺機能検査は一部の都道府県で実施されている。						

◎事業費

(単位：千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	22,283	21,033	20,897	20,633	
うち特定財源	6,850	6,575	5,930	6,175	
人工	7.0	7.0	7.0	7.0	
人件費	50,400	50,400	50,400	50,400	
計(事業費+人件費)	72,683	71,433	71,297	71,033	
事業費の内訳	令和3年度決算	主な経費 ○検査試薬、機材等に係る経費 14,991千円 ○検査に係るリース機器経費 677千円 ○検査補助の費用に係る経費 2,394千円			
	令和4年度予算	主な経費 ○検査試薬、機材等に係る経費 7,219千円 ○検査に係るリース機器経費 279千円 ○検査補助の費用に係る経費 5,700千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	新生児マススクリーニングの受検者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	13910	13910	13731	14000	
活動指標2	指標名	妊婦甲状腺機能検査の受検者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	6221	6221	5386	5600	
成果指標1	指標名	新生児マススクリーニングの受検率			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	112.8	112.8	113.5	112.8	
成果指標2	指標名	新生児マススクリーニングの再検査率			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	1.2	1.2	1.3	1.2	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	○新生児マススクリーニング:市内産科医療機関で出生した新生児13,731人の検査を行い、15人の患児を発見し、専門医療機関で診断、治療が行われた。 ○妊婦甲状腺機能検査:市内産婦人科で検査を希望した妊婦5,386人の検査を行い、29人の患者を専門医療機関に紹介し治療が行われた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	○新生児マススクリーニング この検査は、市内産科医療機関で出産するすべての新生児を対象にしている。受検率は、対出生数ベースで100%を超えているが、札幌市は大都市であることから里帰り出産の割合が高く、他の大都市と同様の傾向となっており、適正な事業規模となっている。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	○マススクリーニング検査体制 本市のマススクリーニングは、自治体直営の衛生研究所が中心となり、保健所・保健センター、医師会、大学病院等と連携して実施している事業であり、単に検査だけにとどまらず、患者の治療、フォローアップ、追跡調査などが一体となったシステムを構築しており、全国でもモデルとなる検査体制となっている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	○精度の高い検査の提供 可能な限り再検査や精密検査を減らすとともに患者の見逃しのないより精度の高い検査を行うため、日頃から検査精度の維持、向上を図り、検査を受けるお子様やご家族の肉体的・精神的な負担を軽減している。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	検査法の改良や指標の見直しを行い、再検査率や精密検査率などをより低く抑えることで検査を希望する方への負担を一層軽減し、より信頼性の高い検査を目指す。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	検査精度を向上させるための二次検査法の検討を行った。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	再検査率や精密検査率を低く抑えながら例年一定数(令和3年度は15名)の患者を発見し、早期治療に結びつけている。新生児マススクリーニング検査の再検査率等について今後も同水準により、全新生児への適切な検査を実施する必要があるため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 現在の対象疾患の検査を継続して行うとともに、より効率的な検査法を検討していきたい。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 検査に必要な試薬等は経常的に支出が求められ、この節減には限りがあるため、機器の日常点検頻度を向上させるなどして修繕に要する費用の削減を図る。		見直し効果額	0